

あなたと議会をむすぶ

議会広報
令和7年8月28日発行
第183号

あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地 編集…議会広報編集委員会 ☎0173-82-0906(直通)

この広報紙は、議員の自主編集で発行しています。



～ 議員による行政視察を行いました ～

6月17日、町議会議員全員が今後のまちづくりに生かすため、令和6年度予算で実施された主な事業について、担当者から説明を受け、質疑応答を交えながら現地で確認しました。

※視察内容は、7ページに載せています。

令和7年6月17日

6月
定例会号

第2回定例会	2
一般質問	3～5
第1回臨時会	6
議員管内行政視察	7
議会活動、議員研修会	8
旭日双光章受章、議会広報編集委員会	9
特集 はつらつチャレンジャー 鰺ヶ沢の食材にほれて	10

鰺ヶ沢町議会ホームページへアクセス



鰺ヶ沢町議会

検索



QRコードは
こちらから

令和7年
第2回
定例会

会期
6月10日～13日

定額減税補足給付金(不足額給付) などを含む補正予算案を可決

令和7年第2回定例会が6月10日から13日までの日程で開かれました。
開会日の10日、一般会計補正予算案など議案14件、報告3件が上程されました。
12日の一般質問では、議員3名があじバスの運行やコロナワクチン接種の助成金などについて町政へ問いました。(質問内容は3～5ページに掲載しています)
最終日には、本会議において審議の結果、全ての議案が原案どおり議決されました。主な議案等は次のとおりとなっています。

00円となりました。

▼鯉ヶ沢町議会議員及び町長選挙ポスター掲示場設置条例の一部を改正する条例の制定について

可決

各投票区の面積及び選挙人名簿登録者数に応じて算定されるポスター掲示場の総数を減じることができる規定を追加。

▼令和7年度一般会計補正予算

可決

一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ5821万7000円増額し、補正後の予算総額は80億1121万70

【主な歳入補正予算】

・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
3731万

8000円

・ICT教育用備品購入事業債
1870万円

1870万円

【主な歳出補正予算】

・定額減税補足給付金(不足額給付)
(補足給付金(不足額給付分))
3500万円

・ICT教育推進費(ICT教育用備品)
2080万円

3500万円

・ICT教育推進費(ICT教育用備品)
2080万円

2080万円

▼財産の取得について

可決

可搬式小型動力ポンプ付積載車(本町消防団)1台の購入

▼財産の取得について

可決

ロータリ除雪車(除雪幅2・6m/354PS)1台の購入

▼固定資産評価審査委員会委員の選任

同意

欠員が生じたことから、新たに固定資産評価審査委員会委員を選任することに同意す

るもの。
▽選任

寺沢 三千年氏
(みちとし)

【任期】

令和10年4月9日まで

▼報告第3号

令和6年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書

令和7年度へ繰り越した総額は、4億9874万6000円。主な事業は次のとおり。

・道路橋梁災害復旧事業
2億6273万

5000円

・橋梁補修事業
6186万

8000円

・農業用施設災害復旧事業
4565万

6000円

・舞戸中村線道路改良事業
6000円

6000円

事業

3144万

6000円

・舞戸中村線交通安全対策事業
3190万円

3190万円

・物価高騰対策生活応援商品券給付事業
1860万円

1860万円

▼報告第4号

令和6年度一般会計予算事故繰越し繰越計算書

令和7年度へ繰り越した総額は、1億3116万円。事業内容は次のとおり。

・(令和4年発生)道路災害復旧事業
1億3116万円

1億3116万円





さとう しょうじ 議員
佐藤 昭司

次期町長選挙について

問・今年の12月で2期目の任期が終了しますが、3期目に向かっての決意を伺います。

答弁・平田町長

まず、結論から申し上げます。私はこれまで町民の皆さんの幸せのため、また鯉ヶ沢町発展のため全力を尽くしてまいりました。その熱い思いは今も変わることなく、改めて鯉ヶ沢町のために全力を尽くして働かせていただきたいと、そういう強い覚悟を持って、三たび町長選に挑戦する決意であります。

さて、この7年6か月を振り返りますと、長期にわたるコロナ禍、そして令和4年の大雨災害、またここ数年来の原油、資材、食料

6月定例会では、3名の議員が一般質問しました。その内容を要約して掲載します。一般質問では町の行財政全般に関し町長の考えや、町の施政方針を問います。

町長に聞く3期目の決意

答へ町のため全力を尽くして働きたい

品の価格高騰、そして、一般の米不足と極めて不安定な社会情勢が続いているところでもあります。こうした中、コロナ禍、物価高騰につきましては、町民の皆さんの生活を守るため、また地域の産業を守るために様々な対策を講じてまいりました。

一方、災害に際しては、被災された町民の皆さん、また事業者の皆さんの支援策ということで、国、県の支援策に加えて町の支援策も講じてまいったところでもあります。

一方で、大雨による再度災害防止のために、現在、急ピッチで進められております中村川の流域治水対策、そしてまた、町が進めている内水氾濫対策、そして、国策である洋上風力発

電事業に伴う津軽港の再整備、こういった大型の建設事業に関しましては、国、県への再三の要望により着々と現在進んでいる状況にあります。

また、常に厳しい財政運営を強いられている鯉ヶ沢町ではありますが、これまでコロナ禍、そして、大雨災害、さらにまた豪雪、こういった様々な災害、災禍はありましたが、財政健全化の一つの目安となる財政調整基金など基金については、令和3年度以降、常に10億円以上を保っているという状況にあります。

さらに、就任当初から歴史文化や食など、町の魅力を生かしたタウンプロモーションに取り組んでまいりましたが、昨年の食イベントには約8000人が訪れ

ているという、鯉ヶ沢町の魅力と集客力というのは格段に向上していると思います。人口減少、少子高齢は進行しておりますけれども、今後は洋上風力発電事業と津軽港を活用した地域振興をはじめ、海の駅のリニューアルなど地域の魅力を生かしたまちづくり、また、地域経済の活性化、さらには義務教育学校の設立や人づくり、そういった教育の充実、さらにまた町民の皆さんの生活に最も身近な生活基盤の維持や整備など取り組みなければいけない問題、課題は多々あります。こうした課題、テーマに全力で取り組み、我々の子や孫にしっかりと託すことができる夢と希望が持てる鯉ヶ沢町のために、引き続き町政のかじ取りを担わ

せていただきたい、そういう思いで3期目に挑戦する決意であります。

意見・1期目は新型コロナウイルス感染症に対する対応、そして2期目は大雨による洪水災害に対する対応、本当に迅速かつ的確な対応だったと思います。町長の判断、そして職員の実行はすばらしかったと思っております。

3期目はもちろん、4期、5期と頑張っていただきたいと思っております。

※佐藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆町道赤石溪流線及びくまの滝線について

問その後の状況等についてお伺いします。

答町道赤石溪流線は、合計22か所のうち11か所の災害復旧工事が完了しています。残り11か所が発注済みであり、2か所が令和7年度中、残り9か所が令和8年12月完成予定です。



きくや なおひさ 議員
菊谷 尚久

あじバスの運行について

問・鰯ヶ沢町地域公共交通計画では、交通弱者への配慮などに視点を置いた町民の移動手段の確保が掲げられており、その中心となるのがコミュニティバス、いわゆるあじバスで、町民の重要な公共交通機関となっています。それだけに、その利便性について、町民の関心は非常に高いものがあります。

朝の便で各地区からあじバスで来て、買物、病院、役場などで用事を済ませ、各地区に戻る便があります。が、その後に中心地へ戻る便が設定されていません。その理由について伺います。

あじバスの昼以降の中心地へ戻る便について 答へ各便の利用実績を考慮し時刻表の設定

答弁・神企画観光課長

主に、町民の皆様が病院や買物などにご利用していただくことを想定しております。町といたしましては、午前中に各地区から駅前や病院を訪れ、昼から午後の便を利用して各地区に帰るという利用方法を想定しております。

各地区から駅方面へ向かう便については、各便の利用実績や町の財政状況を考慮して設定しておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

問・現在の路線の回送バス、これを回送させないで利用者を乗せるようにできないでしょうか。全ての便の回送バスに人を乗せるというのではなくて、最後の1本を回送させないで、もう一度乗せるようにすれば、最小限の予算増で可能ではないかと考えますが、検討していただけないですか。

しよつか。

答弁・神企画観光課長

ご提言ありがとうございます。参考にながら検討していきたいと思えます。

意見・役場職員もぜひとも実際に乗って体験し、利便性の向上を考えていただければと思います。



鰯ヶ沢駅前でのあじバスのようす

※菊谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆町有施設の修繕状況と課題について

町有施設である日本海拠点館、大高山総合公園、室内温水プールの最近の修繕の状況と利用等の問題について伺います。

答・令和4年度から令和6年度までの3年間の主な修繕について説明いたします。

日本海拠点館については、自動火災報知機設備、消防用設備、直流電源装置改修等で、合計金額が約6076万円、大高山総合公園については、遊具、多目的広場、フェンス、サブカウント盤交換修繕等で合計金額が約2813万円、室内温水プールについては、ろ過タンク、温度調整弁、給水給湯管修繕等で合計金額が1510万円となっております。

各施設の利用等の問題についてですが、日本海拠点館3階ホールについては

シートのカビなど汚れがありますので清掃が必要です。全館的に消防法関係の問題がクリアになれば、空調設備等確認しながら使える部分は使っていきたいと考えています。

大高山総合公園のイベントや野球大会での駐車場不足については、通常営業においては十分に対応できていますが、イベント等で多くの来場者が見込まれる場合は、駐車場は不足となっています。不足が見込まれる場合は、主催者において対応していただいております。

また、電光掲示板の修繕については、町でも検討しておりますが、費用は多額であり、ほかの修繕を優先しているため、現時点では修繕が困難な状況にあります。

室内温水プールの町内利用者の増加対策としては、回数券の割引や、年に1度行っている水泳の日という開放日を増やすなど検討して利用者を少しでも増やしていければと思っております。



さとう 議員
佐藤 薫

新型コロナウイルスワクチン接種費用の助成について

問・国では、65歳以上の高齢者と基礎疾患のある60歳から64歳の人を対象とした新型コロナウイルスワクチンの定期接種について、国が自治体に行ってきた助成を令和6年度で終了する方針を既に決定しております。

コロナワクチンの接種は、発症や重症化の予防に極めて有効とされていいます。国の助成がなくなることで、自己負担が増えることが懸念されますが、今年度の町の対応について伺います。

また、昨年度の接種人数、自己負担額、国と町の助成内容等についてもお知らせください。

コロナワクチン接種助成金の上乗せを 答へ近隣市町の情報を集め対応する

答弁・千島ほけん福祉課長

令和6年度の新型コロナウイルスワクチンの定期接種につきましては、まず接種された方は727名となっており、65歳以上などとしている対象者の約20%の方が接種しております。

1回当たりの接種にかかる費用は、1万5300円でした。このうち国からの補助が8300円、町からの助成が5000円、接種者の自己負担額が2000円となっております。

今年度は、国からの補助金がないことが決定しています。接種にかかる費用は、6年度と同じく1万5300円になると見込んでおります。町がどこまで負担するかについては、今後決めていくこととしております。

問・昨年度の自己負担額は2000円でした。1万円を超す自己負担額というこ

とになると、接種者が大きく減ることが予想されます。コロナは5類移行後も、流行の波をいまだに繰り返しており、規模は小さくなっているものの、依然として注意が必要です。国の助成が減る分、ぜひ町で助成金額を上乗せしてほしいと思いますので、町の考えを伺います。

答弁・千島ほけん福祉課長

定期接種は10月から開始を予定していますので、その前に町助成額を決定しますが、近隣の市町も同じ状況にあります。近隣の市町がどの程度助成をするのか、個人負担をどのくらいの金額にするのかという情報を集めながら、近隣とあまり差がないような対応はしていきたいと考えております。

意見・発症と重症化を防ぎ、健康を守るという観点



過去の予防接種のようす

から、ぜひ町助成額の上乗せを強く要望いたします。

※佐藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆特別職非常勤職員の報酬等について

町地方公務員法第3条第3項第2号に規定されている社会教育委員、文化財審議会委員など各種附属機関の委員である特別職非常勤職員の報酬日額、委嘱人数、令和6年度の支給総額について伺います。また、深浦町、鶴田町など西北郡の他

町の報酬日額の状況等についても説明をお願いいたします。

答特別職非常勤職員の代表的なものとして、行政不服審査会委員長が5000円、委員が4500円、そのほかの各種委員会は、委員長が3700円、委員が3200円となっております。

委嘱人数については、令和7年6月1日現在で379人となっております。前年度の報酬の支給総額については、約108万円となっております。

報酬日額の西北郡の他町の状況についてですが、委員長の場合は概ね4500円から4000円で、平均すると4300円、委員の場合は4100円から3500円で、平均すると3900円となっております。

意見・西北郡の他町と比較しても、報酬日額が低い状況となっておりますので、早期に条例改正を行い、報酬日額の見直しを行うよう要望いたします。

第1回 臨時会 7月8日

令和7年第1回臨時会が7月8日行われました。
上程された議案3件、報告1件について審議を行い、全会一致で可決されました。
主な議案は、次のとおりとなっています。

▼工事請負契約の締結

可決

【工事名】

旧役場庁舎及び旧消防署解体工事

【工事の概要】

解体工一式（旧役場庁舎、自転車置場、旧消防署、スチール物置、スチールガレージ物置、パネル式プレハブ倉庫、燃料保管庫）その他、地下埋設オイルタンク（旧役場庁舎）、外構（屋外排水設備・屋外掲示板（一部）、電気設備、機械設備を取りこわし

【仮契約日】

令和7年7月3日

【契約金額】

2億4200万円

【契約の相手方】

株式会社丸重組

▼財産の取得について

可決

【取得する財産】

学習用（指導者用）端末55台

【取得財産の仕様等】

OS Windows 11 Pro Education 16GB以上、画面13インチ以上・タッチスクリーン対応、重さ重量1・5kg程度を超えないこと等

【仮契約日】

令和7年7月4日

【契約金額】

2057万円

【契約の相手方】

株式会社ビジネスサービス 弘前支店

第3回定例会の予定

▼9月4日（木）開会予定です

《開会後の日程は

次のとおりです》

▽9月5日（金）

一般質問

▽9月8日（月）

総括質疑

各常任委員会審査

決算特別委員会審査

▽9月9日（火）

討論、採決、閉会

○議会のようすを知るには…

議会日程は、議会運営委員会において正式に決定されます。

開会中は、町役場1階町民ホールのモニターに、議会のようすが流れています。

議会の本会議では傍聴もできます。（一般席20席、車椅子席2席）

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページ、町LINEでお知らせします。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。



鰯ヶ沢町公式LINE

鰯ヶ沢町公式LINEアカウントの登録をお願いします。町のイベント情報や行政情報、防災情報がわかります。

チェック
ポイント!

かいぎろく 議会会議録は、ご自由にご覧いただけます

町議会の会議録は、議会事務局のほかに、日本海拠点館図書室と中央公民館にあります。定例会や臨時会が終わってから、だいたい1か月ほどでご覧いただけるようになります。

どなたでも自由に見ることができますので、ぜひご利用ください。



議員管内行政視察

6月17日、町議会議員全員が参加し、町内を視察しました。

今回の行政視察は、例年実施しているもので、前年度（今年度であれば令和6年度）に実施した主な事業について、整備や改修の状況、今後の計画について、現地で担当者から説明を受け、確認を行うものです。

今回の視察場所は、JR鰯ヶ沢駅前ロータリー、舞戸小学校周辺の通学路、阿部野団地、斎場、大堤ため池の5か所でした。



駅前ロータリーの事業現場

◆JR鰯ヶ沢駅前ロータリーの整備について
送迎車による混雑の解消が期待されており、大型モニュメント撤去跡地の駐車場整備は完了しているが、駅前の送迎用等の駐車場は、現時点では仮整備の段階とのことでした。
議員からは「使いやすくなった」との声がある一方で、ロータリーという一方通行の認識が薄く、安全面に関する意見も出されました。
今後も整備が進められ、乗用車の駐車場整備や安全性を増すためのカラー舗装等も実施していくとのことでした。



館踏切近くの通学路

◆舞戸小学校周辺の通学路整備について
朝夕に交通量の多い通学路の歩道や歩道のない道路にグリーンベルト（通学路で運転手に歩行者の存在を知らせ、安全な通行を促すために路側帯を緑色に着色したところ）が整備され、児童の安全対策が進められていました。

◆阿部野団地の改修について
建築以来25年が経過した1号棟の屋根や外壁などの改修した様子を確認しました。今後は再来年度までを目途に、2号棟、3号棟と順番に改修事業を実施して



改修された待合ホールで説明を受ける議員

いく予定とのことでした。
◆斎場の改修について
老朽化が進んだ鰯ヶ沢斎場の内部は、照明設備や冷暖房設備、石油ストーブを更新、さらに待合ホールの床張替、カーテンの取替、バリアフリートイレなどが新しくなりました。
また、2部屋あった和室のうち1部屋を洋室に変更し、テーブルと椅子を置き、議員からは「利用者から使いやすくなったとよく聞く」と好評です。
今後は火葬炉の改修も計画されています。



斎場バックヤードにある火葬炉の説明



ガードレール下に見える大堤ため池

◆大堤ため池について
現在、農業用水として利用されていないため、ため池の水位を下げる対策を講じていました。議員からは豪雨時の排水量や堤体の安全性について質問があり、担当課では、ため池点検など安全管理に努めているとの説明がありました。

国道101号・ 西津軽能代沿岸 道路の整備促進 へ向け合同総会 開催

5月16日、「国道101号整備促進期成同盟会」および「西津軽能代沿岸道路建設促進期成同盟会」の合同総会が能代市文化会館で開催され、町議会から田中亨議長、齋藤孝夫産業建設常任委員長をはじめ5名の議員が出席しました。同盟会は、能代市・八峰町・深浦町・鰺ヶ沢町の4市町で構成されており、国道101号の改良整備および西津軽能代沿岸道路の高規格化による地域経済の発展、観光振興、文化交流の推進を目的としています。

国道101号は、地域住民の生活と物流を支える重要な交通基盤であり、防災・強靱化の観点からも整備が強く求められています。特に浸水区域の回避や定



合同総会のようす

時性・速達性の向上に資する道路整備が急務とされており、同盟会としては、関係機関への積極的な要望活動を通じ、早期事業化と予算確保を強く求めていくことを確認しました。

町村議会議長・副議長が防災研修に参加

5月27日、東京国際フォーラムで開催された全国町村議会議長会主催の「町村議会議長・副議長研修会」に、町議会から田中亨議長と須藤一副議長が出席しました。

研修では、*防災DXによる自治体の災害対応力強化をはじめ、新たな防災情報システムや支援物資管理

のデジタル化、被災者支援の在り方について説明がありました。

また、気候変動で激化した平成以降の災害から得た教訓をもとに、復旧・復興のまちづくりにおけるインフラ整備や政治の役割についても示され、災害時における議会や議員の役割などについて理解を深め、防災に対する議会の果たすべき責務を再認識しました。



研修会のようす

*防災DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、災害の分野において、デジタル技術を活用して災害への備えや対応を高度化する取り組みをさします。

県下町村議会議員研修会に出席 今後の政局を学ぶ

7月10日、青森県町村議会議長会主催の「県下町村議会議員研修会」が青森市のホテル青森で開催され、町議会から田中亨議長をはじめ6名の議員が出席しました。

講師は政治アナリストの伊藤惇夫氏で、「今後の政局・政治展望」どうなる参議院選、どうする石破政権」と題して講演が行われました。

講演では、石破政権の立ち上がりの背景や、物価や景気対策の遅れ、政治改革などへの対応の不十分さが指摘されました。また、参議院選挙の行方や今後の政局の動きにも触れ、今後の政治の焦点は「日本の衰退」にあると強調。先端技術分野での国際的敗北や、的外れな少子化対策などを挙げ、政治は短期的な人気取りではなく、長期的な国家ビジョンを描く必要があると語られました。



研修会のようす



開会のようす

坂牛淳治元議長が旭日双光章を受章

「長年の地方自治への尽力が評価され」

坂牛淳治元議長が、今年の春の叙勲において「旭日双光章（地方自治功労）」を受章されました。

5月9日には県知事からの伝達式が行われ、同20日には天皇陛下に謁見し、お言葉を賜りました。同27日には平田衛町長を訪問し、受章を報告されました。

坂牛淳治元議長は、昭和55年に26歳で初当選されて以来、10期にわたって町議会議員を務められました。町議会議員や西津軽郡町村議会議長会会長、県町村議会議長会会長などの要職を歴任し、昭和、平成、令和と長年にわたり地方自治の発展に大きく貢献されてきました。

「皆さんのおかげで、議員や役職を務めることができました。感謝しています」と、受章にあたって感謝の言葉を述べられました。



旭日双光章を受章された坂牛淳治元議長



受章の報告に訪れた坂牛淳治元議長

町村議会議会広報研修会に参加 広報の改善に向けて学ぶ

5月21日、青森市で開催された町村議会議会広報研修会に、議会広報編集委員会菊谷忠光委員長、菊谷尚久委員、木村光義委員の3名が出席しました。

研修では「小学生にもわかる広報づくり」が提唱され、他町村の広報を例に改善点が紹介されました。

当町の議会広報第181号については、表紙の写真が赤石芸能保存会による町内のひとり暮らし宅の除排雪作業をとりあげており、住民協働の取組を伝えているのが好企画とのことでした。

また、文字サイズの拡大、見出しの工夫などが提案されました。

今後、読みやすさを追求し改善を進めてまいります。



研修会のような様子

読みやすさの向上 第1回 議会議会広報編集委員会を開催

6月10日、令和7年度第1回議会議会広報編集委員会を開催しました。

出席者は菊谷忠光委員長、菊谷尚久委員、木村光義委員の3名です。

5月21日に青森市で開催された町村議会議会広報研修会で得た学びを早速取り入れ、広報の改善に向けた検討を行いました。

討を行いました。その一環として、議会広報第183号から本文の文字サイズを従来の10ポイントから12ポイントへ拡大することを決定しました。情報量はやや減少しますが、議会会議録閲覧の案内を強化することで対応していきます。

今後も読みやすく親しまれる広報づくりを目指します。



議会議会広報編集委員会のような様子

10ポイント
議会広報
←
12ポイント
議会広報

特集

はつらつ チャレンジャー

Vol.12 鰯ヶ沢の食材にほれて



建石町

株式会社 CONVEY (コンベイ)

素材料理人 **横田 渉** さんと

代表取締役社長 **松木 絵美奈** さん

令和4年に世田谷区から移住して、鰯ヶ沢町で3回目の夏を迎える。ご夫婦と小学生のお子さんの3人で建石町在住

「はつらつチャレンジャー」12回目の今回は、株式会社CONVEY（コンベイ）の松木絵美奈さんと横田渉さんにお話を伺いました。

聞き手は、菊谷尚久広報委員です。

食でつながる笑顔と出会い 鰯ヶ沢での豊かな暮らし

Q この町を選ばれた理由は、どんなところにあったのでしょうか。

A まずは仕事を通して鰯ヶ沢にきました。食材と自然と文化が豊かだと感じました。

Q 移住前に感じていた町の印象と、今の印象に違いはありますか。

A もちろん違いはあります。それを楽しみながら、自分たちで工

夫して暮らしていい場所だと感じています。

Q 普段の生活の中で、お気に入りの場所や時間はありますか。

A 工房から眺める夕陽と星空です。

Q 主な仕事内容はなんですか。

A レストランを持たない料理人であり、食に関する仕事をいろいろ

るとしています。

・鰯ヶ沢の旬の食材を使ったハレの日の料理通販「わいわいパーティーボックス」

・毎月どこかの土日限定でオープンする「ポップアップブラン

チ」、メニューは名物の醤油もろみローストポークが中心のワンプレート

・夏と冬には、自然豊かなコンベイの工房周りで、食体験とヨガやクラフトなどの学び系ワークショップと交流の場「お山の上マルシェ」

・去年より移住や関係人口創出に繋がればと企画した「あじがさわスタディケーション」などイベントを開催。

今後も食でつながる場を作りたいと考えています。

Q どんな時にやりがいを感じますか。嬉しかったエピソードなどがあれば教えてください。

A お客様からのやさしいお声掛けが励みになります。イベントを開催して、お客様が楽しそうにしている姿を見ると、本当に嬉しい気持ちになります。

Q 同じように移住を考えている人に向けて、伝えたいことはありますか。

A まずは行動を。移住にはなんでも相談できて、頼りになる「キーマン」の存在が重要です。

Q 「この町で暮らす」とは、どんな意味を持っていますか。

A 生きる力を学べることです。

Q CONVEY（コンベイ）さんのイベント情報はどこでわかりますか。

A 道の駅わんど内の「あじ・彩・感」や「シーポップ」に、イベント情報が載っている『チラシ』を置いていますので、それをご覧ください。ほかにホームページやSNSをしています。

Q CONVEY（コンベイ）さんのお料理を楽しめる場所はどこですか。

A 通信販売や町でのイベントへ出店した時、月に1度工房で開催するポップアップランチなどです。

【予告】次回ポップアップランチは、9月6日（土）、7日（日）、10月25日（土）、26日（日）です。場所は工房（建石町字成沢53-2）です。



CONVEYさん
ホームページ